Ikegami

池上通信機株式会社

会社説明資料

01 会社概要

02 事業内容

03 業績推移

04 成長戦略

05 非財務情報

©2025 池上通信機株式会社

池上通信機は映像情報通信機器の専門メーカーです。

1946年の創業以来、映像技術を中心としたモノづくりに携わり、
縁の下の力持ちとして国内外のテレビ放送や産業を支えてきました。
そして、長年培ってきた技術力ときめ細やかな対応を強みとして、
放送・セキュリティー・メディカル・検査市場向けの製品やシステムを
手掛けています。

©2025　池上通信機株式会社

商　　号	池上通信機 株式会社　/　IKEGAMI TSUSHINKI CO., LTD. （東証スタンダード市場：6771）
資　本　金	7,000百万円
代　表　者	代表取締役社長　清森 洋祐
設　　立	1948年2月21日　　個人創業:1946年9月10日
所　在　地	〒146-8567 東京都大田区池上 5-6-16
連　絡　先	03-5700-1111
従 業 員 数	630名（連結774名）*2026年3月期
主 要 製 品	放送用カメラシステム、放送用モニター、映像制作・送出システム、 映像伝送システム、中継車システム、セキュリティーカメラシステム、 医用カメラシステム、各種外観検査装置等

©2025　池上通信機株式会社

1946年　初代社長 斎藤 公正が「池上通信機材製作所」を創立

1948年　株式会社に組織変更

1950年　周波数特性自動記録装置を開発

1951年　社名を「池上通信機株式会社」に変更

テレビジョンスタジオ装置関連の製造･販売を開始

1955年　自主開発製品の第1ステップとしてモノスコープカメラを開発

受像機調整用装置として国内受像機メーカー全てに納入

1961年　東証第2部へ株式を上場

1962年　放送用小型テレビカメラ「ハンディルッキー」1号機を

米国CBS様に納入

1964年　米国法人をニューヨークに設立

1970年　西独駐在員事務所をデュッセルドルフに設立

1971年　カラーカメラ「TK-301A」を開発。NHK様全国配備をはじめ

民放各社に納入

1973年　医用カメラ「MKC-309」を開発

1978年　カラーハンディカメラ「HL-79A」を開発

1981年　カラースタジオカメラの

自動調整デジタルコンピュータの開発によりエミー賞を受賞

1983年　カラーカメラ「EC-35」の技術開発により

エミー賞を受賞

1984年　東証第1部に株式を上場

1986年　新型ヘリコプターテレビシステムを開発

1989年　3Dカラーカメラ「LK-33」を開発

1994年　「コントロール･エッジ・エンハンスメント技術

（スキンディテール）」によりエミー賞を受賞

2007年　宇宙環境に耐えられるカメラを開発、

月周回衛星「かぐや」に搭載

2010年　「ポータブルテープレス記録機の開発と製品化」

により4度目のエミー賞を受賞

2014年　シンガポールに現地法人を設立

2015年　世界初の8Kスーパーハイビジョン中継車を製作

世界初のハンディタイプ8Kスーパーハイビジョンカメラ

「SHK-810」をNHK様と共同開発

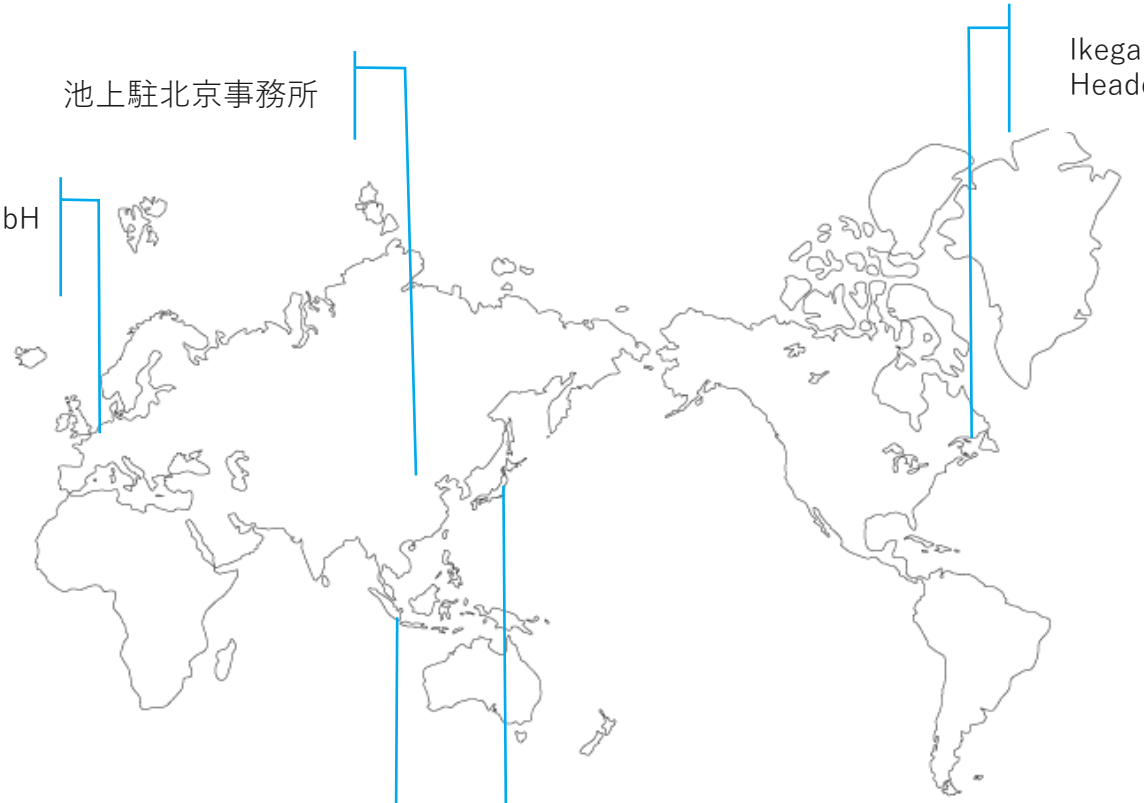
2021年　創立75周年を迎える

2022年　東証市場再編に伴いスタンダード市場に移行

2026年　システムセンター（神奈川県藤沢市）の新棟が完成

創立80周年を迎える

©2025　池上通信機株式会社



■本社：東京都大田区池上
■営業・マーケティング本部：東京都大田区池上
大阪支店/名古屋支店/九州支店
仙台営業所/札幌営業所

■国内生産拠点
・プロダクトセンター：栃木県宇都宮市
・システムセンター：神奈川県藤沢市

■調達センター：東京都大田区池上

■関連会社
・株式会社テクノイケガミ：神奈川県川崎市川崎区塩浜

©2025　池上通信機株式会社

「技術」のチカラで、
あなたをしあわせに。

卓越した技術と匠の技で社会が求める新たな価値を創造し、
持続可能な社会インフラ構築の一翼を担い、
広く世の中に貢献し、
社会から必要とされる企業であり続ける。

これがIkegamiのパーパス（社会に存在する意義）です。

©2025　池上通信機株式会社

創業理念（Ikegamiフィロソフィー）

技術の向上、開発へのたゆまざる意欲と不屈の精神を支えとし、使って喜ばれる製品を作り出し、世の中に寄与してゆく
その実現に向け、常に努力し、責任を以て事に当たる社員を育てる
そうすることで、世の中で真に存在価値ある会社・常に世間から愛される会社を創る

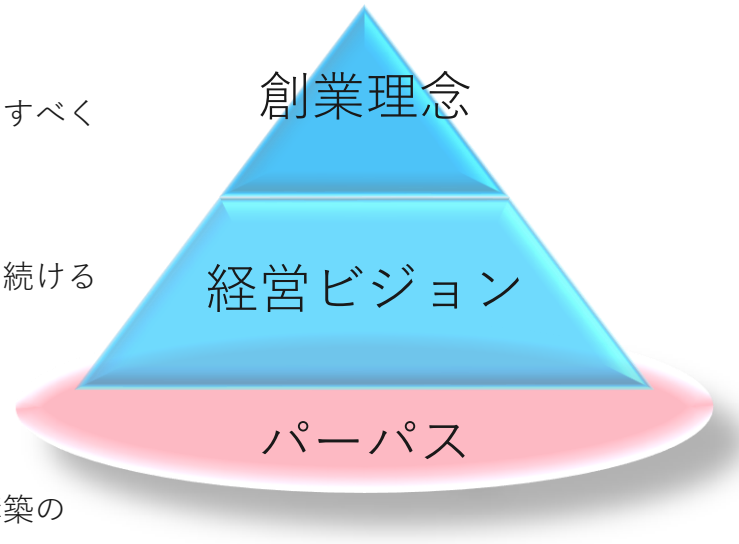
経営ビジョン（目指すべき方向性・あり方）

●絶え間ない技術の研鑽に努め、時代を先取りした技術革新に果敢に挑戦し続け、技術優位性の確立により、
「Ikegami Way」を追求してゆく

●「Ikegami Way」の追求により、顧客ニーズを逸早く具現化し、常に顧客満足と
社会の信頼と期待に応え、安定した経営基盤の構築を図る

●その対価を、全てのステークホルダーへの確実なる還元と将来への成長投資の原資とすべく
好循環サイクルを確立し、進化させ続け、グローバル企業として成長・発展し、
グローバルでの社会貢献を目指す

●その実現に携わる全ての人々が生き甲斐と働き甲斐を見出すことのできる企業であり続ける



パーパス（社会的な存在意義）

「技術」のチカラで、あなたをしあわせに。

卓越した技術と匠の技で社会が求める新たな価値を創造し、持続可能な社会インフラ構築の
一翼を担い、広く世の中に貢献し、社会から必要とされる企業であり続ける。

©2025　池上通信機株式会社

事業セグメント			製品/強み/戦略
放送システム事業	放送	製品	放送用カメラシステムやサブシステム、中継車、伝送システム等
		強み	放送業界における70年以上の経験と高い技術力
		戦略	IP対応製品の開発強化や次世代放送技術の獲得
産業システム事業 注力事業	セキュリティー	製品	官公庁、鉄道、流通市場向け監視カメラシステム
		強み	高画質・高機能・高信頼性
		戦略	官公庁向け製品の研究開発強化
	メディカル	製品	内視鏡用カメラモジュール、手術顕微鏡用カメラ、術野カメラシステム等
		強み	医療現場で求められる高精細な色再現性
		戦略	コア技術の追求による新領域、海外注力市場向け製品の開発
	検査装置	製品	錠剤検査装置/印刷装置、粉体検査装置、平面検査装置等
		強み	高速処理能力と高い検査精度
		戦略	シェア拡大と新分野への販売強化により事業を拡大

©2025　池上通信機株式会社

池上通信機の3つのコア技術

Image
撮像

IP＆T

Process
画像処理

Transmission
伝送

IP＆Tの技術で、社会課題を解決しています。

©2025　池上通信機株式会社

放送システム事業（カメラ、システム）

テレビ番組をはじめとした映像コンテンツの制作現場に欠かすことのできないカメラやモニター、編集設備など、数多くのIkegami製品が活躍しています。
また、各種製品をシステム構築し、スタジオ・サブシステムや中継車システムなどのトータルソリューションを提供しています。

【スタジオカメラ】
網易娯楽株式会社様（e-sports向け）

【スポーツ中継カメラ】
米国マサチューセッツ大学ローウェル校様

【サブシステム】
テレビ金沢様

【中継車】
日本テレビ系列様（総数18局に納入）

お客様	強み	市場動向	成長戦略
• 放送局 • 公営競技場 • テレビショッピング • CATV • 官公庁	• 放送市場における長い歴史と技術力 • お客様の運用形態に合った提案力/システム構築力	• 作業効率化、省力化への需要を背景としたIPリモートプロダクションの増加 • ハードからソフト、オンプレミス＊からクラウドへの移行	• IP・クラウド対応を中心とした次世代放送技術の開発推進

＊オンプレミス：サーバーやソフトウェアなどの情報システムを、使用者が管理している施設の構内に機器を設置して運用

©2025　池上通信機株式会社

放送システム事業（伝送システム）

放送システム事業では、事故・災害が発生した場合にリアルタイムで現場の状況を伝達し、
救助活動や二次災害の防止対策に活用されているヘリコプターTV中継システムや、
映像を電波にして伝送する伝送装置なども提供しています。

【ヘリコプターTVシステム受信基地局】
株式会社様毎日放送様

【ヘリコプターTVシステム機上装置】
福岡市消防局様

【ヘリコプターTVシステム機上装置】
地図合成装置「GEAR」

防振装置
「SHOTOVER M1」

FPU装置

お客様	強み	市場動向	成長戦略
• 放送局 • 官公庁	• 映像伝送機器/システムにおける長い歴史と技術力 • Transmission技術を活かした、豊富な無線伝送装置のラインアップ	• 近年の異常気象や大規模災害を背景とした、正確で迅速な情報提供の必要性	• 顧客ニーズに即した新機能開発と小型・軽量化の推進 • 放送局向け防振カメラの市場シェア拡大

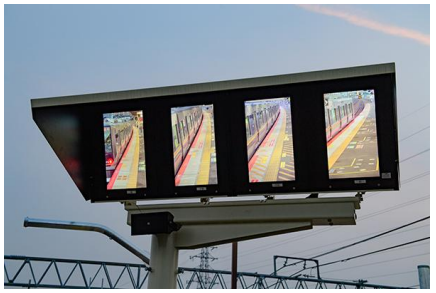
©2025　池上通信機株式会社

セキュリティー事業

「安心・安全」に対する意識が日に日に高まり、高度化する市場ニーズに対し、
Ikegamiならではの高精細映像技術やネットワーク技術を提案しています。
官公庁やプラントなどで使用されるハイエンドな監視システムの構築を得意とし、
高付加価値製品・システムを提供しています。

【監視カメラシステム】
ミニストップ株式会社様

【映像監視システム】
茨城県 龍ケ崎地方塵芥処理組合様



【車掌用ITVシステム】
西日本旅客鉄道株式会社（JR西日本）様

【ワンマン運転士用ITVシステム】
IRいしかわ鉄道様

お客様	強み	市場動向	成長戦略
• 官公庁 • 鉄道 • プラント • コンビニエンスストア 等	• 放送用カメラで培った高画質・高機能・高信頼性 • 市場別/用途別に合わせた製品ラインアップと提案力	• 防衛費予算の拡充（令和5年度から5年間で43兆円） • 大規模災害・防犯意識を背景とした安心安全なまちづくりへの対応	• 官公庁向け製品の研究開発体制の強化 • 監視システムへのAI機能実装による高付加価値化 • ワンマン運転の拡大や省力化ニーズの高まりを捉えたソリューション提供の強化

©2025　池上通信機株式会社

メディカル事業

人間の目に変わる医療現場の目としても、Ikegamiのカメラ映像技術が体内の映像を捉え、
最先端医療の実現に寄与しています。
手術顕微鏡や手術室の無影灯に設置されるカメラシステムにおいては国内で大きなシェアを占めています。

【手術顕微鏡用カメラ】
聖母眼科様

【術野カメラシステム】
JRA 日本中央競馬会様
美浦トレーニング・センター
競走馬診療所 手術室

【スリットランプ用カメラ】
原眼科病院様

【OEM供給】
手術顕微鏡メーカー
内視鏡メーカー向け等

お客様	強み	市場動向	成長戦略
• 内視鏡メーカー • 顕微鏡メーカー • 病院 （脳外科・眼科・歯科等）	• 放送用カメラで培った高精細な色再現性 • 国内の手術顕微鏡や手術室の無影灯に設置されるカメラシステムでは大きなシェアを誇る	• 患者様の負担が少ない低侵襲手術の増加 • 医師不足地域における遠隔医療の需要増による更なる高品質なカメラの需要	• 硬性鏡・顕微鏡に次ぐ、新領域カメラの開発による事業ポートフォリオの拡大 • 北米・インドを中心とした重点地域での販路拡大

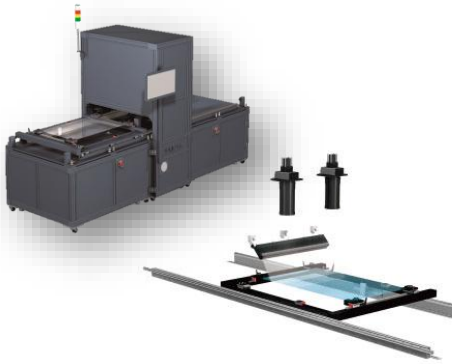
©2025　池上通信機株式会社

検査装置事業

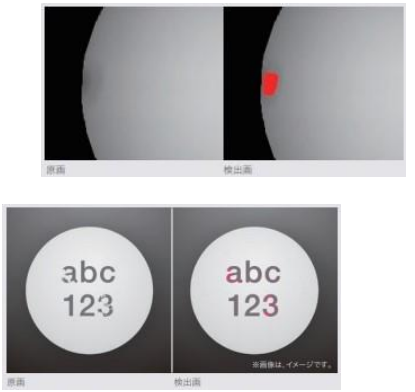
モノづくりの最終段階では、出荷前の検査が必要となります。
「キズや汚れがないか」「異物の混入はないか」を人の目に代わり自動で判別する検査市場でも
Ikegamiの製品が活躍しています。

【錠剤検査装置】
Meiji Seika ファルマテック株式会社様

【末・顆粒剤検査装置】
サンノーバー株式会社様



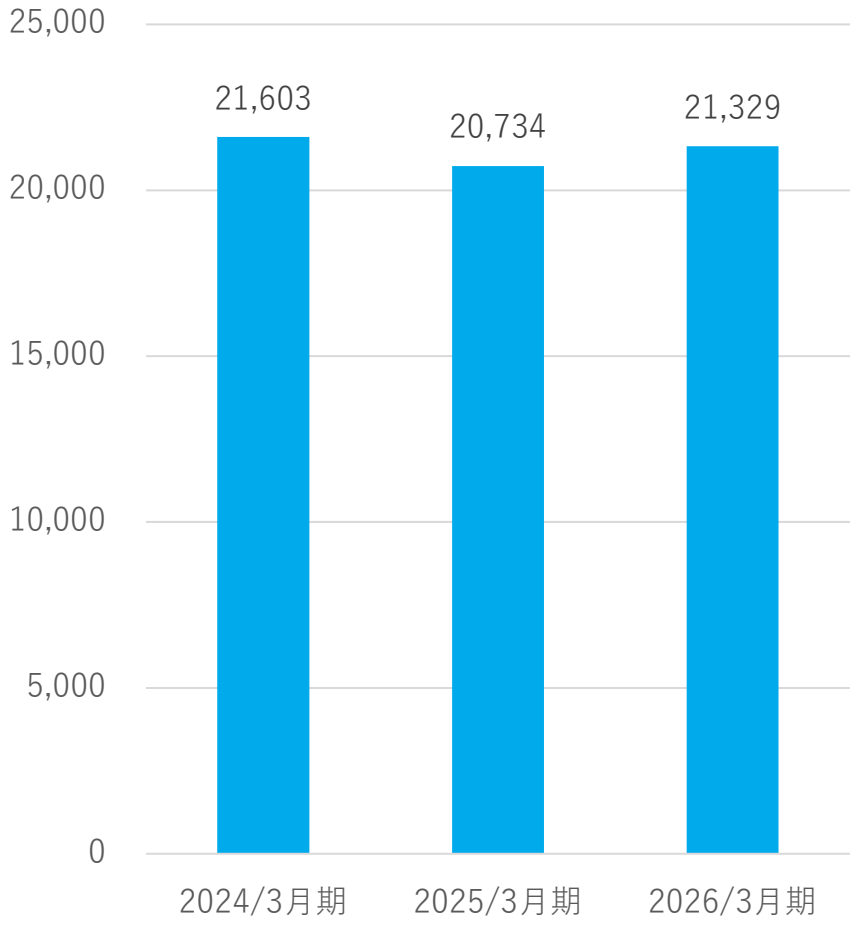
【平面枚葉検査装置】



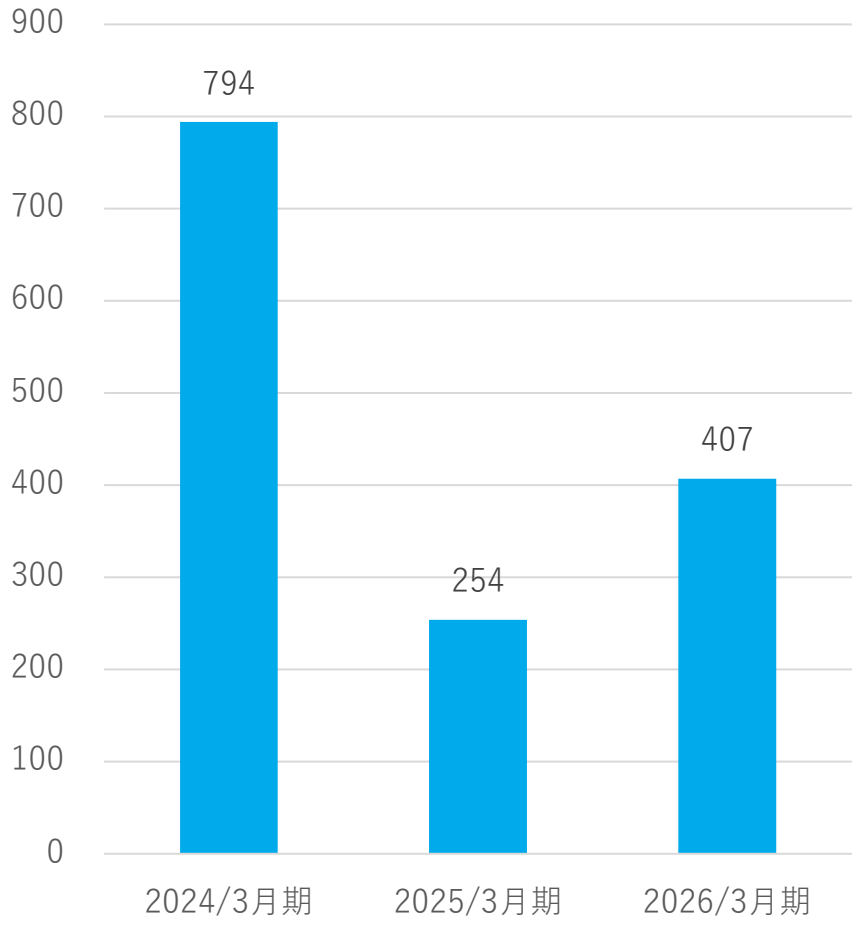
お客様	強み	市場動向	成長戦略
• 製薬メーカー • 平面素材メーカー （フィルム、ガラス、金属箔　等）	• 高い処理能力と検査精度 • ユーザー目線の扱いやすさ	• 後発医薬品の供給不足を背景とした安定供給に向けた設備投資の増加 • 労働人口減少による目視検査から自動化へのニーズ	• 医薬市場での錠剤印刷装置事業の拡大 • 産業市場でのプレゼンス向上と新分野開拓 • システム販売強化による売り上げ規模の拡大

©2025　池上通信機株式会社

売上高（百万円）

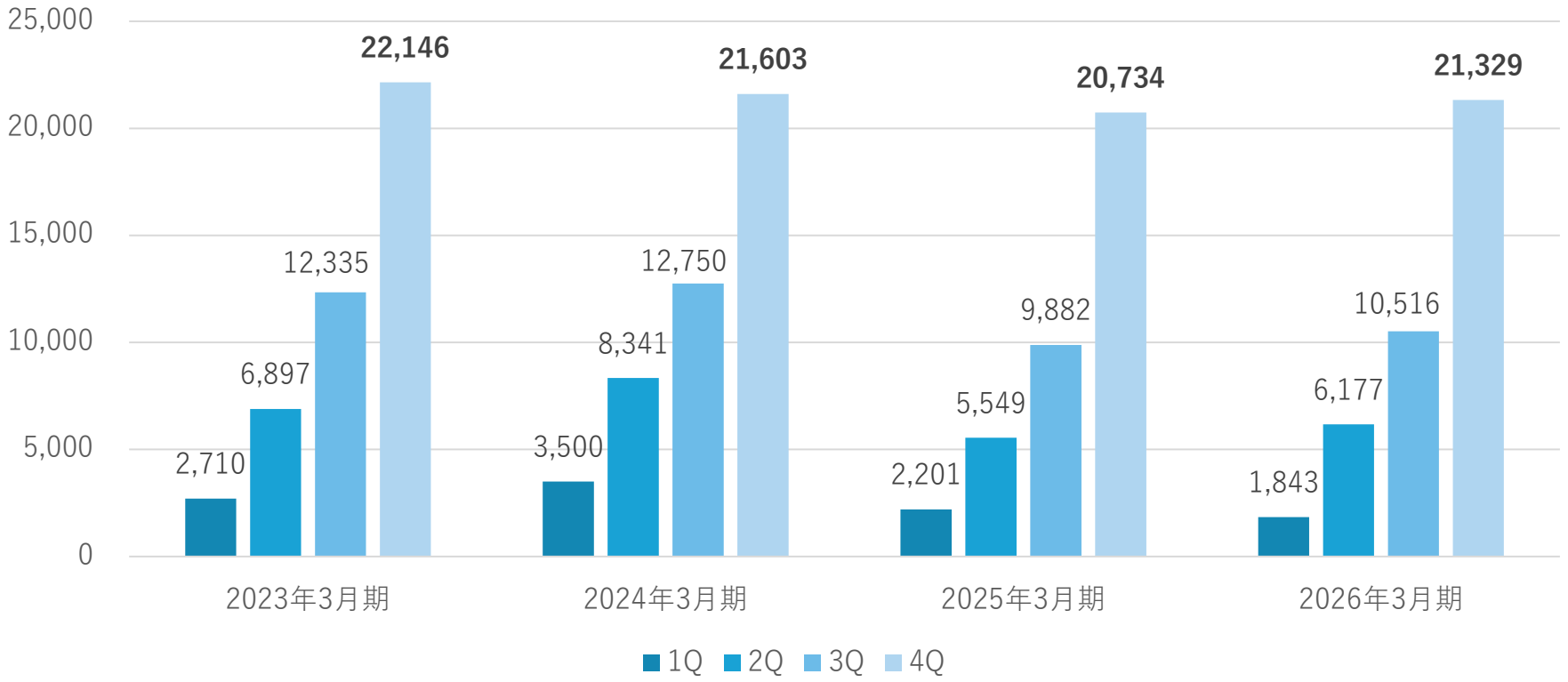


営業利益（百万円）



©2025　池上通信機株式会社

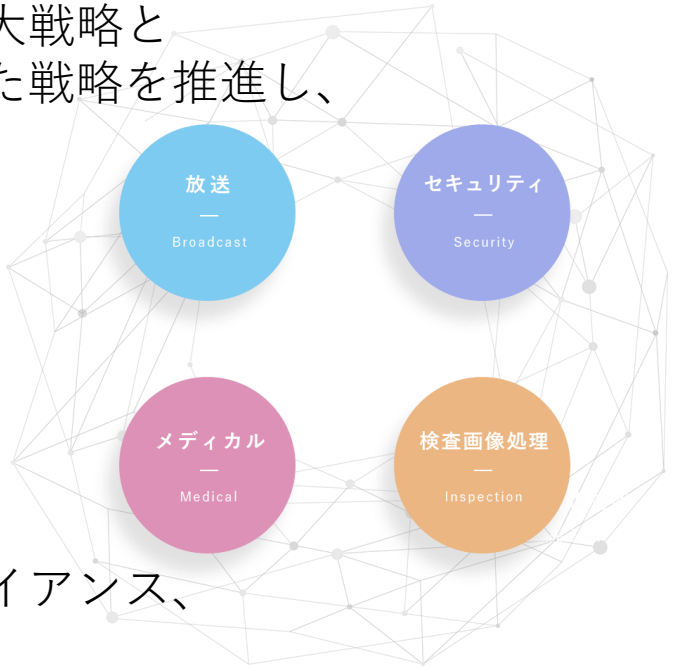
主要顧客が年度の予算内で動く放送局や官公庁であることから、
売上高は4Qにかけて増加する傾向にあります。



©2025　池上通信機株式会社

- 産業システム事業（※１）の注力事業領域への成長・拡大戦略と
放送システム事業の安定的事業規模の維持・確保に向けた戦略を推進し、
更なる売上高の拡大と利益の増出を目指す。

※１　ＳＳ（セキュリティソリューション）事業
ＭＳ（メディカルソリューション）事業
ＩＳ（インスペクションソリューション）事業



- コア技術の進化と深耕、外部リソースの有効活用・アライアンス、
更にはM&Aも視野に、既存事業のバリューアップと
事業領域の更なる拡大を推進する。

- 地政学的リスクへ対応するため、サプライチェーンの多様化を推進する。

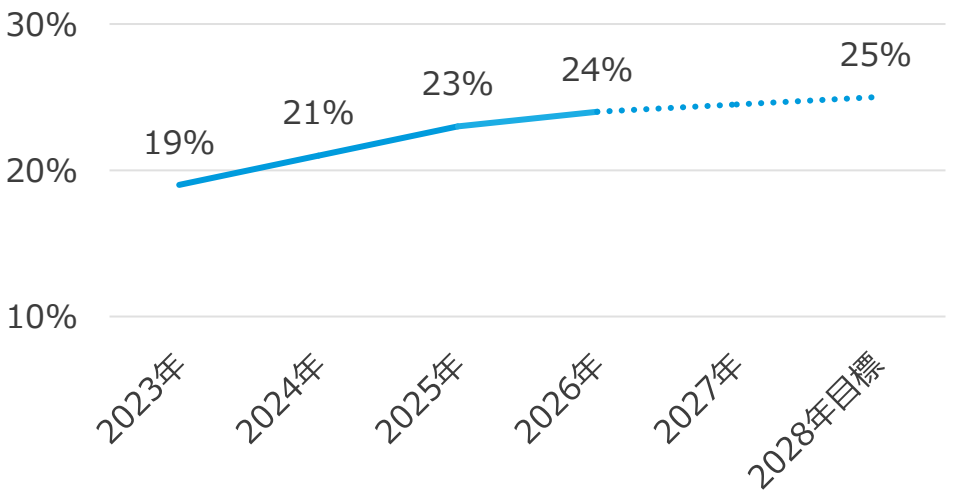
- ESG経営の推進により、企業価値の向上と持続的な成長・発展を追求する。

©2025　池上通信機株式会社

人的資本の強化

- 中長期的な人員採用戦略/ジョブローテーションによる人財多能化の推進
- 女性活躍の更なる推進（継続就業支援、役職者への登用）
- シニア人財の活用と働きがいのある職場・しくみ（制度）の整備
- 2024年4月1日　：資格取得奨励制度を導入
- 2026年3月9日 ：「健康経営優良法人（大規模法人部門）」に2年連続で認定

女性社員比率の推移と目標



2026
健康経営優良法人
KENKO Investment for Health
大規模法人部門

©2025　池上通信機株式会社

ESG/SDGsの具体的取り組み

情報通信と画像のプロフェッショナルとして、世界が直面するさまざまな課題と真摯に向き合い、
事業活動を通じて持続可能な社会の実現に貢献しています。

ESGの具体的取組とSDGs目標

	事業活動	製品	SDGs目標
環境 ― Environment	• ISO14001環境マネジメントシステム導入 • 温室効果ガス（CO2）排出量の削減 • 太陽光発電設備の導入 • コピー紙使用量の削減 • 高効率の空調機導入 • 照明のLED化 • 藤沢メダカの保護活動 • RoHS指令適合管理	• 触媒などに使われるハニカム構造体検査装置の開発・販売 • 環境配慮型製品の開発・販売	
社会 ― Social	• CSR調達ガイドラインによる人権、環境、公正取引等への対応 • 個人情報の保護・管理 • ダイバーシティやワークライフバランスの推進	• 医療用カメラ・モニタの開発・販売 • 錠剤検査装置の開発・販売 • 上下水道プラント管理システムの開発・販売 • 交通系・防災系監視システムの開発・販売 • 河川監視システムの開発・販売 • 産官学連携等の共同研究への参画	
ガバナンス ― Governance	• 積極的な情報開示 • 取締役会の多様性 • RC委員会や内部監査室の設置		

©2025　池上通信機株式会社

- 資本コストや株価を意識した経営の実現に向けた対応
  https://www.ikegami.co.jp/ir/pdf/shihoncost_keiei231214.pdf

- ESG /SDGsの取り組み
  https://www.ikegami.co.jp/sustainability/

©2025　池上通信機株式会社

本資料の取り扱いについて

本資料は、情報提供のみを目的として作成されたものであり、当社の有価証券の売買の勧誘を構成するものではありません。本資料に含まれる将来予測に関する記述は、当社の判断及び仮定並びに当社が現在利用可能な情報に基づくものです。将来予測に関する記述には、当社の事業計画、市場規模、競合状況、業界に関する情報、成長余力及び財務指標並びに予測数値が含まれます。将来予測に関する記述は、あくまでも当該記述がされた時点におけるものであり、将来変更される可能性があります。将来予測に関する記述によって表示又は示唆される将来の業績や実績は、既知又は未知のリスク、不確実性その他の要因により、実際の業績や実績は当該記述によって表示又は示唆されるものから大きく乖離する可能性があります。当社は、財務上の予想値の達成可能性について明示的にも黙示的にも何ら保証するものではありません。

また、当社は、本資料の日付以降の事象及び状況の変動があった場合にも、本資料の記述を更新又は改訂する予定はありません。

本資料には、独立した公認会計士又は監査法人による監査を受けていない、過去の財務諸表又は計算書類に基づく財務情報及び財務諸表又は計算書類に基づかない管理数値が含まれています。

本資料には、当社の競争環境、業界のトレンドや一般的な経済動向に関する統計情報及び調査結果、外部情報に由来する他社の情報が含まれています。当社は、これらの情報に由来する情報の正確性及び合理性について独自の検証を行っておらず、いかなる当該情報についてもその正確性及び合理性を保証するものではありません。また、他社に係る事業又は財務に関する指標は、算定方法や基準時点の違いその他の理由により、当社に係る同様の指標と比較対照性が無い可能性があります。

IRに関するお問い合わせ

池上通信機株式会社 社長室　経営戦略部　広報・IRグループ

TEL 03-5700-1115

e-mail　kouhou_ir@ikegami.co.jp

URL https://www.ikegami.co.jp/